

2014年7月29日
お問い合わせ先
ベインキャピタル広報担当：久世（くせ）
090-5432-6755／03-3536-2688

ベインキャピタル、株式会社ベルシステム 24 ホールディングスの間接持分 49.9%譲渡で 伊藤忠商事とのパートナーシップに合意

国際的プライベート・エクイティ投資会社であり、日本企業の競争力強化の支援に注力している Bain Capital Partners, LLC（そのグループを含み、以下「ベインキャピタル」）は、株式会社ベルシステム 24 ホールディングス（本社：東京都中央区、代表執行役社長 CEO：小松 健次、以下「Bell」）の間接持分 49.9%を伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡藤 正広、以下「伊藤忠商事」）に譲渡する買収関連契約を締結しました。本取引の実行後、ベインキャピタルが Bell の間接持分 50.1%、伊藤忠商事が Bell の間接持分 49.9%を保有する予定です。【なお、譲渡額については公表しておりません。】

ベインキャピタルは、本取引の実行後も伊藤忠商事との強力なパートナーシップの下、共同で Bell の更なる成長に取り組む予定です。

Bell は、コンタクトセンター運営を中心としたカスタマーサービスのアウトソーシングビジネスを創出した先駆けとして、30 余年にわたって業界をリードしてきた最大手のプレーヤーです。

ベインキャピタルの杉本勇次マネージング・ディレクターは本取引の背景について次のように述べています。「2009年12月30日にベインキャピタルが Bell に投資して以来、それまで培った Bell のコンタクトセンター運営のノウハウを基盤に、生産性をさらに高めるための構造改革、グローバル水準のサービス提供を可能にするシステム投資やオペレーション改善、また既存のビジネスモデルにとらわれない新たなサービスの構築などに次々に着手し、企業価値の向上に努めてまいりました。今回、日本を代表する総合商社である伊藤忠商事との強力なパートナーシップにより、IT サービスを強化した、より広範な BPO 領域においてさらなる成長が実現可能と考えております。今後、共同で成長戦略を策定・実行し、事業の更なる発展を図る計画です」。

ベインキャピタルは全世界で総額 700 億ドルを越える運用資産を持つ国際的投資会社であり、日本においては 2006 年に東京拠点を開設して以来、約 30 名のプロフェッショナルにより投資先の企業価値向上に向けた取り組みを進めています。主に事業会社・コンサルティング会社での経験を有するプロフェッショナルを中心に構成されており、一般的な投資会社の提供する資本・財務的支援にとどまらず、事業運営を現場レベルで支援・着実に成長戦略を実行し数々の価値向上施策を成功に導いた実績を有しています。日本においてはすかいらーく、ジュピターショップチャンネル、マクロミル、ドミノピザ・ジャパンなど 8 社に対して、そしてグローバルでは 1984 年の設立以来 300 社超に対する投資実績があり、BPO 業界においても Genpact, VXI Global Solutions, Attento など、世界における多数の代表的 BPO 企業に対する投資・価値向上実績を持っています。

ベルシステム 24 ホールディングスについて

Bell は、コンタクトセンター運営を中心としたカスタマーサービスのアウトソーシングビジネスを創出した先駆けとして、30 余年にわたって業界をリードし、数々のスタンダードを創りあげてきました。現在では連結売上約 1,100 億円に達し、国内最大手のカスタマーサービス事業者です。

ベインキャピタルについて

ベインキャピタル (<http://www.baincapital.com>) は、プライベートエクイティ、ベンチャーキャ

ピタル、上場株やレバレッジローンなど、総額 700 億ドル以上に上る数種類のファンドを運用している世界最大級の投資会社です。ミット・ロムニーを中心としたメンバーによる 1984 年の創業以来、さまざまな業種にわたり、世界中で 300 社以上のプライベートエクイティ投資や追加的投資を行っており、事業会社・経営コンサルティング会社・投資銀行・弁護士など様々なバックグラウンドを持つ 300 名を超える専門家チームが企業への新規投資や既存投資先の経営支援に従事しています。ベインキャピタルは、本社をボストンに置き、東京、香港、上海、ムンバイ、ニューヨーク、シカゴ、ロンドン、ミュンヘン等に拠点を有しています。